ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校 後援会News

no. 158 2025.6.15

発行｜ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校 後援会
編集｜推進委員会

— あなたの祈りを届けよう —

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20 TEL:0422-31-4611 FAX:0422-33-6405 URL：https://www.luther.ac.jp/college/donation/

2025年度の役員紹介

遠くの野には花が咲いていると信じて

後援会 会長 **山根 洋子**

この度、全国世話人代表会において後援会会長に就任しました三鷹教会の山根洋子です。

私はルーテル学院の公開講座を受講して、その魅力にひかれて学士編入し、総合人間学部キリスト教学科を卒業しました。後援会推進委員になったのは後援会の皆様のお支えを得て過ごした幸せの日々を、後輩の学生達と分かち合いたいと思ったからです。

個人的なことですが、主人の転勤先の神戸から東京に戻った時に、重度重複障害の長女を受け入れてくれる幼稚園は皆無でした。途方に暮れている時に訪ねたのが、ある教会付属幼稚園でした。生まれたばかりの次女を抱えて汗だくでお願いする私に「私どもでお役に立てるならお預かりします」と言ってくださった牧師先生に後光が差したと感じました。長女は卒園しても、婦人部の年になっても、お世話されるままに今日に至っていますが、彼女がキリスト教をどのように理解しているのか、何が魅力なのか、とても気になっていました。

ルーテル学院大学での日々は「神様の溢れるばかりの恵みをただ受け取ればいい」ということを教えてくれました。長女は何の迷いもなく、ただ神様の恵みを受けているのだと。私は長女に迷うことの無い心を教えられました。

大学・大学院が募集停止になりましたが、キリストの心を心とするルーテル学院の、変えてはいけない事のために変えていかなくてはならない事もあるでしょう。神様は私たちにきっとふさわしい道を備えてくださいます。

遠くの野には花が咲いていると信じて、皆さまと共に歩いていきたいと思います。

支えよう、大事なルーテル

後援会 副会長 **菊池 一生城**

先日の新聞にたくさんの私立短大が学生募集停止となり、貴重な学びの機会が減っていくことへの懸念が記されていました。

ルーテル学院も今年は約90名の卒業生を送り出し、入学者はいないというさみしい状況となりました。私たちの誇りである小さなすばらしい大学が最後まで輝き続けてほしいと願うものです。「今が支えるとき」です。大事な神学校があります。卒業生の現場での働き、友人や先生と出会い過ごしたキャンパスライフの思い出、全国の教会が支える後援会活動はしっかりと残り続けることでしょう。

これからの後援会活動は今まで経験したことのない試行錯誤の歩みとなることと思います。共に祈りのうちにルーテル学院・神学校を大切にする後援会活動を支えましょう。

次世代に向けて

後援会 副会長 **神月 靖**

通信技術の進歩により、世の中の変化が昔に比べると桁違いの速さで伝播していくのが現代の特徴です。

一方、生物学的な人間の認知、思考能力は500年前と比べて大きく進化していないと思います。その結果、最先端でさまざまな問題に直面しているのが、今の我々ではないでしょうか。解決に向けて、情報の間違った解釈、誤った考え方に陥らないようにするには、正しい教育が万古不易の処し方だと思いますが、その正しさの拠り所は何かと問われれば、ルターの教えがその一つだと我々は言えるのだと思います。

1909年の神学校開校以来その名を冠するルーテルの教育の場が続くように、変わらない支えをお願い申し上げます。

引退役員挨拶

退任のお礼

日本福音ルーテル津田沼教会
小澤 周司

2006年9月にルーテル学院大学・日本ルーテル神学校の後援会推進委員となり、19年もの長きにわたって沢山の方々にお支えいただき感謝します。

学生時代からずっと聖書と教会につながってはいたものの、かつて「社会福祉」や「神学校」は女房から教えてもらう分野でした。ですから、後援会活動に加わることによって、全国に出かけ、沢山の方々と出会い、新たに貴重な学びをさせていただくことができました。

神様のなさることは本当に不思議です。

会長の任に就いた4年前は、新型コロナウイルス感染症の真っ最中で、学長・神学校長が代わられて間もない時期でした。対面での後援会推進委員会も開催できず、活動全体が停滞しましたが、オンライン会議という新しい方法で繋がりを取り戻すことができました。今では全国世話人代表会や首都圏世話人会等の重要な会議も対面だけでなく、オンラインでも開催できています。

コロナの影響が小さくなってくると、沢山のお祈りとともに献金額が大きく伸びました。しかし、社会環境が変わり、少子化等の影響もあって、新入学生数は伸びず、ルーテル学院大学・大学院は2025年度からの学生募集停止を決断しました。神学校も、これまでとは大きく変わらざるをえないとお聴きします。そのショックの影響からか、献金額はコロナの時を下回っています。

こうした中ではありますが、私自身や家族をとりまく生活環境が大きく変わったため、任を終えます。これからは、これまでの学びを実践する者の一人として頑張ります。

ありがとうございました。

副会長を退くにあたって

日本福音ルーテル保谷教会
古財 武久

2021年4月、コロナ禍の中で副会長になり、後援会活動をどのように進めていけば良いのか思案していました。

対面での会議が中止となり、リモート会議が始まりましたが、思うように個人の考えを語り合うことができず、それとともに行動も制限されていました。

ようやく元に戻りつつある中で、JELC北部九州地区の集まりが催されました。そこに進んで参加することが許され、地区の方々の熱心な働きに心を打たれ、ルーテル学院を支えていかなければとの思いを抱きながら、東京へ戻り、活動を行っておりました。

ところが昨年の夏ごろから、体力の低下に伴う体調不良や家庭環境の変化が重なって、その職責を全うすることが困難になり、副会長を辞任することになりました。しかし、建学の精神（キリストの心を心とする）から「イエスキリストの生き方をあなたの生き方としなさい」というみ言葉が聞こえてきます。

己の負の要因を抱えつつ、推進委員は続けていければと思っています。

新任の地区世話人代表と推進委員

【東海地区　尾張岐阜地区　世話人代表】
秋田 義彦 氏（J大垣教会）

【推進委員】
藤木 智広 師（N六本木ルーテル教会）
後藤 礼子 氏（N東京ルーテルセンター教会）
逢坂 敏秋 氏（N大宮シオン・ルーテル教会）

首都圏では「推進委員」が、各教区・地区では「地区世話人代表」が後援会活動の中心となって、皆様の教会とルーテル学院を繋いでくださっています。

感謝の言葉

ルーテル学院大学 学長 **石居 基夫**

この度、小澤周司会長、また古財武久副会長が退任されることとなり、これまでのお働きに心から感謝を申し上げたいと思います。

お二人は、ルーテル学院を支えるために、毎月の推進委員会はもちろん、全国の教会、世話人、また卒業生・保護者など関係の方々の学院への思いに寄り添い、それぞれの地域に足を運び、交わりと祈りを合わせてきてくださいました。ルーテル学院がどんな課題や困難の中にあるときにも、後援会が共に歩んでくださる心強いパートナーであり続けてくださるのは、こうした具体的なお働きによるものと、改めて思うことです。

お二人に神の祝福をお祈り申し上げます。

2025年度 募金目標額　2,000万円